【経営学科　国語基礎学力型】

〔一〕

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 問１ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | 明快 | だっしゅ | 才覚 | 占 |
| | 5 | 6 | 7 | 8 |
| | がかい | 偏在 | 双方 | 隔 |
| 問２ | 4 | | | |
| 問３ | 2 | | | |
| 問４ | 自壊作用 | | | |
| 問５ | 5 | | | |
| 問６ | 3 | | | |
| 問７ | それは時代 | | | |
| 問８ | 2 | | | |

〔二〕

| | |
|---|---|
| 問 1 | 近代社会において文化が芸術や文学などの知的活動に限定して考えられるのに対して、伝統的社会では、社会的に伝えられる行動様式や技術、信念、制度、宗教、あるいはその社会ないしコミュニティを特徴づけるような人間の働きと思想によって生み出されたものをすべて含んだ一つの総体として捉えられるものを指している。（148 字） |
| 問 2 | それぞれの社会に根付いたスピリチュアリティとの関連を土台として、社会の全ての構成員が利用可能となるような公正な配慮とともに、将来の世代のみならず他の伝統的社会をも考慮した保全を図るという合意。（96 字） |
| 問 3 | 本文において筆者は、伝統的社会における自然観に関して、文化や歴史観および生活様式などとの総体の一部として見なし得るものであると述べている。少数民族の文化の保護という観点から見ても、このような独特の自然観は尊重されるべきであり、多様性が重視される現代においては、より一層の存在意義が認められてしかるべき考え方である。<br>しかし、こうした自然観には、現代のグローバル化社会に馴染まない部分があることも否めない。大量消費社会の現代において、自然資源の輸出入は世界中で行われており、世界中の人々の生活を支えるために、手段化された自然資源の活用は必要不可欠な仕組みとなっている。伝統的社会に特徴的な、限定された地域での自然資源の管理や規制を継続していくことは、もはや現実的ではなくなっている。<br>このような現代的状況において、私はそれでもなお伝統的社会の価値観は、現代社会が見習うべき考え方を有していると考える。グローバル化社会としての現代社会は、国家間で資源の売買や援助を行ったり、文化間の相互理解を積極的に進めたりするような、世界を単一の共同体と捉えようとする側面を有する。このようなグローバル化社会を一つの共同体組織と見なした場合、伝統的社会の価値観が有益な規範として生きてくることになる。その構成員である人類は、将来世代や近隣の社会を考慮に入れて、自然資源の保全を行う義務が発生するからだ。現代社会に伝統的社会の考え方を取り入れることは、倫理的というよりもむしろ実践的な影響をもたらし得るのである。<br>現代における大量消費文化を全て停止させることは現実的ではない。しかし、自然資源を持続的な形で利用しようとする伝統的社会の価値観を地球規模で当てはめることで、構成員である人類が自然資源を公正に利用しつつ、将来世代まで考慮された姿勢が育まれていくのである。（770 字） |